

松ヶ崎少年補導だより

下鴨少年補導委員会
松ヶ崎支部

発行責任者
支部長 北川 憲一

TRY! 松ヶ崎 一年を振り返って

平成二十九年度
松ヶ崎小学校 PTA 会長 酒井道広

いつも小学校PTAの活動に、ご理解ご協力を頂きありがとうございます。引き続き、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

先日「漫画 君たちはどう生きるか」という本が、TSUTAYAで平積みになっていました。原作は80年以上前に出版された、吉野源三郎の小説「君たちはどう生きるか」です。恥ずかしながら、漫画化され初めて手に取った次第です。

主人公は15歳の少年、あだ名は「コペル君」。それを支えるのが、メンターである「おじさん」。多くの子どもたちが抱えるであろう悩みに向き合う姿が、コペル君を通じて描かれていて、時代に左右されない人間関係や、人間社会の本質をすくい取った教養書としても親しまれているようです。

この一節で、コペル君は「人間分子の関係 網目の法則」を発見します。
アパートの屋上から眼下の人

波を眺め、粉ミルクの缶の表示を見て、ミルクがオーストラリアの牛から日本にいる自分の手に来るまで、多くの人々が関与している事に気付きます。人間は社会の大きな流れを作っている「分子」のようで、「人間分子は、みんな、見たことも会ったこともない大勢の人と知らないうちに、網の目のようにつながっている」というものです。ふだん意識していないなくても、誰しもが他人に依存して生きているからこそ、「人間らしい関係」を築くことが大切だと。

少年補導委員会の皆様が続けてこられた取り組みは、「子どもフェスティバル」や「飯盒すいさん」などを通じ、人と人とのつ

ながりを、子どもたちや私たちが学ぶ絶好の機会になっていてと感じております。今後ともよろしくお願い致します。
「おじさん」は、自分でそこまで考えることができたコペル君を賞揚し、その気持ちを忘れずに、将来、人類が進歩するために必要な「偉大な発見」を成し遂げるよう奮起を促しています。

ノーベル賞が身近に感じられるこの地から、しっかりと考えることのできる子が育ち、偉大な発見をする若者が輩出されることを期待したいと思います。



正田町 S.S.さん

少年補導の歌

東 政治郎 作詞
藏田 春平 作曲

- 一、明るい街に 人は和し
明るい家に 子は伸びる
大人子供は しつかりと
心をつなぎ 手をつなぎ
何でも話す 子になろう
何でも聞ける 親になろう
- 二、涙する子は ふいてやり
迷える子には 道教え
許し励ます 親心
子供は親の 鏡なら
我が子他人の 区別なく
みんなでもともそう補導の光
- 三、善意はみのある いつの日か
あの子はかえる 夢さめて
貫く愛に 真実に
こたえてくれた 子の笑顔
その喜びと 使命こそ
消してはならぬ 補導の灯

さしのべる 手のぬくもりを どの子にも

日々想うこと

松ヶ崎民生児童委員協議会会長 岩崎洋子

村上弘子前会長から会長をひきついで約1年がたちました。

松ヶ崎学区では、13名の民生委員が研修を積みながら地域の見守りを行っています。お一人住まいの高齢者の方には、6名の老人福祉委員が訪問活動をしています。私達は全員、社会福祉協議会の役員としてもお手伝いをしています。

会長になって気がついたことは、各種団体のみなさまが目に見えないところで、地域を支えてくださっているということ。感謝しています。夏祭り、松ヶ崎子どもフェスティバルなどの催しに参加、訪問をさせていただいた時も、生き生きとお世話をしてくださる役員の方々、楽しそうに時をすごす子どもたちの様子をみていると私は幸せ感じっぱいになります。一方先日、認知症の方への声かけ訓練をした時、一般の若い方や小学生もたちどまって、とても優しく対応してくれました。このような地域で暮らせることをありがたいと思っています。松ヶ崎は恵まれた地域です。社会福祉協議会協賛で民生児童委員会が毎月第一月曜日の午前

10時から松ヶ崎児童館で開催している「子育てサロン」に来られる親子の方々も、ようこそお母さん、お父さん、事業で訪問する出産されたお母さんも、みなさんめぐまれた親子さんのようにみうけられます。

しかし、日々の報道や研修で知ることは、どうにもやるせないことではないです。

広がる格差社会と貧困、薬物への依存、弱者への虐待やいじめ、ひきこもりなど。松ヶ崎学区には深刻な問題は存在しないかもしれませんが、でも、もしかしたら、何か言いたくも言えない子どもがいるかもしれない、人とのつながりをもとめている少年がいるかもしれない。地域の行事に参加したくてもできない子どもたちがいるかもしれない。わたしたちはそのような子どもをどのように発見し、そしてつながりをもつてゆけばよいのでしょうか？

とりあえず声をかけあって、老若男女、子どもも大人も、みんなが笑顔でいられる地域であってほしいな、と想うだけです。

窓

今も忘れることがない新宮神社の秋祭り

小脇町

平瀬静枝

私達の住む松ヶ崎の氏神さんは新宮神社で、お祭りは十月二十三日に行われていた。

近年子どもの数も少なくなりましたが、三十年前、息子が六年生のときに、二クラス七十九名もいて授業の一環で獅子頭を一人一つずつ作った事があった。指導者はクラスメートの祖父だった。子ども達は秋祭りには、その獅子頭をかぶって参加することが決まっていたので夏休み明けから制作が始まった。材料こそ、ベニヤ板や荷造り紐、端布などを使っているが、耳や口が動く本格的なものだった。顔の表情も怖そうなものや、ユーモラスなものもあり、バラエティーに富んで秀作揃いであった。

祭りの当日、手造りの獅子頭をかぶった七十九名が先陣をきり、お稚児さん、子ども神輿の順で神社を出発し、一キロ先のお旅所まで練り歩いた。沿道は多くの人達で賑わい、獅子頭の一行は、おじいさん、おばあさんに呼び止められたり、声をかけられたりして、その度に行列がとまった。

かぶりものをしてるので、息子がどのあたりにいるのか分からないまま進んでいったが、夕方、高揚した顔で帰ってきた息子は、開口一番「同級生が獅子頭の口に五百円入れてもらったり他の友達も十円や五円入れてもらったんや、僕には何も入れてもらえへんかった」と悔しそうに言った。「そりゃあ、残念やったね。この獅子頭はかなり怖い出来やったからね」と私は笑ってしまった。

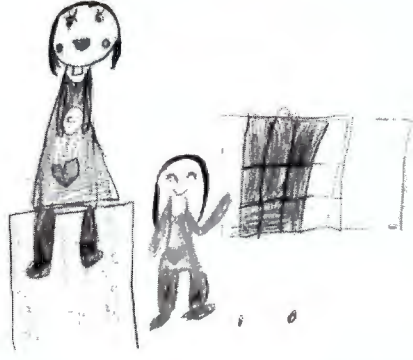
獅子頭は今も息子の宝物になっている。獅子頭の行列が祭りに参加したのはこの年だけだった。地域の古来の催事は、たいいていこうした形で受け継がれているのだと思う。





1年2組	名前 わたなべけいじろう
ぼくはゴミをスリッパで踏んで	
汚すくいやしをきかすともいひかま	
まじりましたとすくなくいひをかき	
ました。そのききよはきききも	
ンゾイオスとスベレた。おにい	
ちゃんがおとメスけつこせし。10	
くらあかちゃんかうまねあは	
いへいたのでぼくはけいじろう	
あかちゃんかうまねらいいいとお	
す。	

松ヶ崎小学校 1年2組 わたなべけいじろう



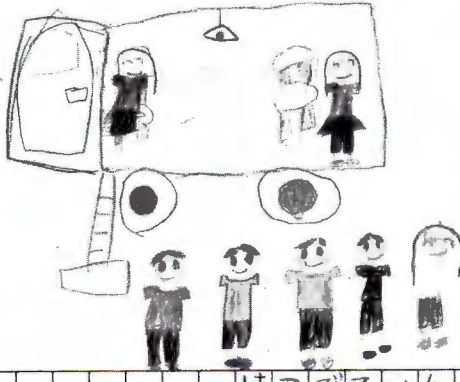
1年1組	名前 いさまほ
あたしはおばあちゃんとい	
どもをステイバルにいきました。	
たこせんがおもしろいでした。	
ストラックアウトでさいはは	
あたらなかつたけどあたり	
あたうれれしかたです。	
ほかのゲームではまめつか	
みはせつかめました。	
わなげゲームは四かいはいり	
ました。	
たのしかったです。	
またいきたいです。	

松ヶ崎小学校 1年1組 いさまほ



1年2組	名前 ひろかねこう
まがごきスリッパ	
へいったりいじんたけんや	
まめつがみがありました。	
そのなぐでもストラックア	
ウトがたのしくたです。	
たべものはたこせんがおい	
しかったです。うさぎいんと	
はいろんなきりんが	
てきたらいいなとおも	
います。	

松ヶ崎小学校 1年2組 ひろかねこう



1年1組	名前 かみじょうなこ
わたしがだのしかたのはじめ	
んでまちあひこるもつてや	
いっもわかたてあひこね	
てからわくなくたのでよ	
です。ほんとうのじしん	
つくえのもともがあら	
けをしないようばり	

松ヶ崎小学校 1年1組 かみじょうなこ



大人気 ストラックアウト



オリンピックめざしてボルダリング



何があたるかな

子ども フェスティバル



楽しい工作



ボウリング

支部活動 状況報告

前号に引き続き、当支部のその後の活動状況につき、ご報告いたします。

- 1 十月一日 第六十三回区民運動会に協賛参加いたしました。
- 2 十月九日 松ヶ崎学区防災訓練に参加いたしました。
- 3 十月十一日 支部役員会
- 4 第三十二回子どもフェスティバルについて、催し物や役割分担について検討いたしました。
- 5 十月二十日 アピカルイン京都にて行われた敬老会に参加いたしました。
- 6 十月二十三日 松ヶ崎少年補導だより第六十五号を発刊し、三〇〇部を印刷、市政協力委員さん、隣組長さん方のご協力により、全世帯、関係機関に配布いたしました。
- 7 十月二十四日 支部役員会
- 8 第三十二回子どもフェスティバルについて催し内容、役割分担の最終確認を行いました。
- 9 十月二十九日 京都アスニーにて京都市表彰式が行なわれました。
- 10 十一月三日 第三十二回松ヶ崎子どもフェスティバル
- 9 十一月二十二日 支部役員研修会および懇親会をアピカルインにて行いました。子どもフェスティバルの反省や来年に向けての話し合いをいたしました。
- 10 十一月二十二日 標語掲出
- 11 七月に選出された非行防止標語を校区内に掲出しました。
- 12 十一月二十四日 京都工芸繊維大学学園祭構内パトロールを行いました。
- 13 一月八日 アピカルイン京都で行われた松ヶ崎消防分団出初式に出席しました。
- 14 一月二十日 松ヶ崎児童館の新春お楽しみ会のお手伝いを行いました。
- 15 三月七日 松ヶ崎少年補導だより第六十六号の編集会議を行いました。
- 16 三月八日 「社会を明るくする運動」特別講演会が行われました。

また、古紙回収を毎月第四金曜日に行っています。皆様のご協力に感謝いたします。

以上ご報告申し上げます。

支部長 北川 憲一